

アース・ビジョン 第18回地球環境映像祭
子どもアース・ビジョン賞受賞

DVD
VIDEO

■上映時間 21分
価格 42,000円(本体 40,000円)

長編ドキュメンタリー

田んぼ

— 生きものは語る —

「田んぼの生きもの調査」から見えてきたもの

はるか昔から、私たち人間と共に生きてきた生きもの^{いのち}の生命が
続かなくなるような環境変化は、いずれ私たち人間の安全で豊かな
生活をも脅かすこととなる…。

鳥・虫・魚・人は「田んぼ」でつながっているのです。

この作品は多くの皆さんの応援と協力によって完成しました。

制作スタッフ

プロデューサー
原 耕造
吉田 憲治

脚本・演出
森田 久雄

音楽
天才あひる倶楽部

語り
里村 奈美

撮影
武藤 隆
久慈 良治

照明
小沢 真也

演出助手
桑原 由花

制作
大串 靖宣

制作協力 NPO法人 生物多様性農業支援センター(略称：BASC)
全国農村映画協会

制作：映画「田んぼ」制作委員会

冬の眠りから目覚める田んぼ…。

田んぼに水が入ると生きもののドラマが始まる。原生生物(ミジンコなど)が生命の営みを開始すると、一気に田んぼに春がやってくる。

カエルが冬眠から目覚め、ドジョウやメダカやタナゴ等魚達がどこからともなく泳ぎ出す。そして空には白サギや青サギが舞い出す。

田植えが終わり、田んぼの水がぬるむ頃、子どもたちがやってきて、生きもの調査が行われる。魚やカエル、いろいろな虫たち、土の中にもイトミミズやユスリカなど数多くの生命の営みがあることを知る。

稲の穂が出て、お米の花が咲く頃、畔の草の中にいたお米の大敵カメムシが田んぼに入ってくる。その頃になるとクモ達がカメムシたちを狙って稲穂の間に巣を張り、活動が活発になる。

土の中では、何百万、何千万匹ものイトミミズやユスリカがせっせと土づくり。作った豊かな土は10cmにもなる事があるという。逆光を受けて輝くユスリカの蚊柱。そこに飛び込む赤トンボ。赤トンボは、田んぼで生れる。

やがて田んぼは黄金色に輝き、収穫の時を迎える。二千年以上とぎれる事のない田んぼ、お米づくりが生きものたちの循環を守ってきた。各地で盛んに行われ、大きな広がりを見せてきた『田んぼの生きもの調査』から見えてきたもの…。

それは、長い間私たち人間と共に生き続けてきた生きものたちの生命が立ちゆかなくなるような環境変化は、いずれ私たちの安全で豊かな生活をも脅かす事になるという確信。トリ・ムシ・サカナと私たちは田んぼでつながっているのです。

2008年11月ラムサール条約締約国会議で、水田に関する決議が採択され、田んぼは生物多様性を高める湿地生態系としての価値が再評価されました。この映画「田んぼ」には、ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」と地域の農家と渡り鳥との共生を図りながら、懸命に実践されている農家の取組が描かれています。この映画を機会に、私たちの最も身近な自然環境である田んぼや水路、畦道に注目し、耳を傾けていただきたいと思えます。

宮城県大崎市長 伊藤康志

2007年5月20日、国内では43年ぶりとなるゴウノトリのヒナが生まれ、翌年には、5組のペアから8羽のヒナが誕生しました。ヒナたちは、親鳥の愛情を受け、田んぼの恵みももらい、田んぼの中で育っていききました。様々な命を育む田んぼ。私達もゴウノトリと同様に田んぼの様々な恵みももらい暮らしてきました。目の前の当たり前の風景に大切なメッセージがあるのです。映画「田んぼ」は、田んぼの生きものとその調査に関わる人たちの姿を通して、命の大切さ、力強さを語ってくれます。

兵庫県豊岡市長 中貝宗治

このDVDの販売金額の10%は民間型環境直接支払基金としてNPO法人生物多様性農業支援センターに積み立てられ、様々な生物多様性活動支援金として役立てられます。活動内容及びご質問については以下のところにお問い合わせください。

NPO法人 生物多様性農業支援センター E-mail: tambo@wehab.jp URL: http://wehab.jp/

■上映時間 21分 ■「田んぼ」42,000円 (本体 40,000円)

制作：映画「田んぼ」制作委員会

制作協力 NPO法人 生物多様性農業支援センター(略称：BASC)
全国農村映画協会

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955